

令和6年2月7日開催

全員協議会資料

○ 令和6年能登半島地震による市の被害状況等について

1	地震の概要	1
2	災害対策本部	2
3	情報発信	2
4	被害の状況	4
5	避難所の開設状況	8
6	被災者生活支援の取組状況	9
7	事業者支援の取組状況	13
8	被災地への支援	14
9	復旧経費等の予算措置状況	15
10	課題検討に向けた視点等	16

令和6年能登半島地震による市の被害状況等について

1 地震の概要

- 本震：1月1日（月） 午後4時10分頃
- 発生場所：石川県能登地方（輪島の東北東30km付近）深さ16km
- 規模：マグニチュード7.6
- 市内の震度

震度	観測地
5強	木田、柿崎区、頸城区、吉川区、三和区
5弱	安塚区、牧区、大潟区、中郷区、板倉区、名立区
4	浦川原区、大島区、清里区

※参考：最大震度7（石川県志賀町）、震度6弱（長岡市）

- 主な余震：1月9日（火） 午後5時59分頃
- 発生場所：新潟県佐渡付近 深さ10km
- 規模：マグニチュード6.0
- 市内の震度

震度	観測地
4	木田、安塚区、大潟区
3	浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区、名立区

※参考：最大震度5弱（長岡市）

- 災害救助法の適用：1月1日（月）
- 激甚災害及び特定非常災害の指定：1月11日（木）
- 市内の津波

日時	内容
1日(月)	16:12 津波警報の発令
	16:35頃 市内の海岸沿線各所における津波の到達 【市内で確認した津波到達場所】 港町1丁目、船見公園、郷津浜海岸、谷浜海岸、大潟漁港、柿崎漁港、名立漁港 【関川の津波遡上】 国土交通省高田河川国道事務所（1月10日発表） ・ <u>午後4時35分頃に第1波が関川を遡上</u> ・ <u>河口から約5km、関川支流の保倉川で約1.6kmまで遡上</u> ・津波が堤防を越えて浸水したのは、関川右岸の保倉川合流地点より河口側の <u>港町1丁目付近</u> 【遡上高】 気象庁（1月26日発表） ・船見公園における <u>遡上高が5.8m</u>

2 災害対策本部

日 時	内 容
1日(月) 16時10分	上越市地震災害対策本部を設置
〃 18時30分	第1回上越市地震災害対策本部会議 (1. 状況の確認、2. 各関係機関からの報告、3. 本部長指示)
2日(火) 11時00分	第2回上越市地震災害対策本部会議 (1. 現在の状況、2. 今後の気象見通し、3. 今後優先すべき対応、 4. 本部長指示)
3日(水) 15時00分	第3回上越市地震災害対策本部会議 (1. 現在の状況、2. 今後の気象見通し、3. 市民生活への支援、 4. 本部長指示)
16日(火) 15時00分	第4回上越市地震災害対策本部会議 (1. 現在の状況、2. 市民生活への支援、3. その他の対応状況、 4. 今後の気象見通し、5. 本部長指示)

3 情報発信

地震、津波等に関連する情報について、防災行政無線や防災ラジオ、安全メール、市公式SNS、市ホームページ及び報道機関を通じた周知など、様々な伝達手段を用いて市民への情報発信を実施

○地震、津波及び避難に関する主な発信

日 時	内 容
1日(月) 16時10分	気象庁…緊急地震速報発表
〃 16時10分	上越市で最大震度5強を観測
〃 16時10分	防災行政無線（自動起動）…緊急地震速報（Jアラート）を発表
〃 16時12分	気象庁…津波警報発表（新潟県上中下越）
〃 16時13分	防災行政無線（自動起動）…津波警報（Jアラート）を発表
〃 16時38分	防災行政無線（市職員）…緊急一括放送※ ※緊急一括放送：屋外拡声子局、戸別受信機、防災ラジオ、ケーブルテレビ及び有線放送等に一斉に配信 【内容】津波からの避難と火災防止を周知
〃 17時07分	防災行政無線（市職員）…緊急一括放送 【内容】津波からの避難と火災防止を再周知
〃 17時58分	安全メール・SNS…避難情報の配信 【内容】全避難所開設、津波警報、避難周知
〃 18時08分	気象庁…緊急地震速報発表
〃 18時08分	上越市で最大震度4を観測
〃 18時09分	防災行政無線（自動起動）…緊急地震速報（Jアラート）を発表
〃 19時45分	市ホームページに地震関連情報を一元化したページを開設。以降、最新情報を随時掲載。
〃 20時12分	安全メール・SNS、報道機関への情報提供 【内容】国道8号通行止め情報、避難所開設情報、津波警報、避難周知
〃 21時08分	防災行政無線（市職員）…緊急一括放送 【内容】津波警報発令中、避難継続を周知
〃 21時12分	安全メール・SNS…避難情報の配信 【内容】津波警報発令中、避難継続を周知

日 時	内 容
2日(火) 1時15分	気象庁…津波警報から津波注意報へ切替え
〃 10時00分	気象庁…津波注意報解除
〃 14時02分	安全メール・SNS、報道機関への情報提供…避難所閉鎖情報の配信 【内容】津波注意報解除、上越市総合体育館を除き順次閉鎖
3日(水) 19時30分	報道機関への情報提供…避難所閉鎖情報の配信 【内容】上越市総合体育館 17時閉鎖
20時23分	安全メール・SNS…避難所閉鎖情報の配信 【内容】上越市総合体育館 17時閉鎖、罹災証明書の発行、災害ゴミの出し方と費用を周知
7日(日) 15時34分	安全メール・SNS…大雪対応による避難所開設情報の配信 【内容】15時30分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
〃 15時36分	報道機関への情報提供…大雪対応による避難所開設情報の配信 【内容】15時30分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
〃 15時44分	防災行政無線（市職員）…大雪対応による避難所開設情報の配信 【内容】15時30分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館 （戸別受信機への配信のみ）
〃 16時12分	気象庁…大雪警報発表
8日(月) 8時20分	気象庁…大雪警報解除
〃 9時46分	安全メール・SNS…大雪対応の避難所閉鎖情報の配信 【内容】9時15分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
〃 10時03分	防災行政無線（市職員）…大雪対応の避難所閉鎖情報の配信 【内容】9時15分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館 （戸別受信機への配信のみ）
〃 10時03分	報道機関への情報提供…大雪対応の避難所閉鎖情報の配信 【内容】9時15分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
9日(火) 17時59分	気象庁…緊急地震速報発表
〃 17時59分	上越市で最大震度4を観測
〃 17時59分	防災行政無線（自動起動）…緊急地震速報（Jアラート）を発表
〃 18時16分	防災行政無線（市職員）…緊急一括放送 【内容】地震発生・津波への注意喚起（津波警報等の発表はなし）
〃 18時17分	安全メール・SNS…地震発生情報の配信 【内容】地震発生・津波への注意喚起（津波警報等の発表はなし）
〃 18時45分	防災行政無線（市職員）…避難所開設情報の配信 【内容】18時40分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館 （戸別受信機への配信のみ）
〃 18時49分	安全メール・SNS…避難所開設情報の配信 【内容】18時40分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
〃 18時54分	報道機関への情報提供…避難所開設情報の配信 【内容】18時40分開設：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館

日 時	内 容
10日(水) 9時14分	防災行政無線（市職員）…避難所閉鎖情報の配信 【内容】8時30分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館 （戸別受信機への配信のみ）
” 9時18分	安全メール・SNS…避難所閉鎖情報の配信 【内容】8時30分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館
” 9時29分	報道機関への情報提供…避難所閉鎖情報の配信 【内容】8時30分閉鎖：上越市総合体育館、ユートピアくびき希望館

4 被害の状況（令和6年2月2日現在）

(1) 人的被害

死亡者数	重傷者数	軽傷者数	合 計
—	1人	5人	6人

(2) 建物被害

(件)

建物区分	全 壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半 壊	準 半 壊	一部 損 壊	床 上 浸 水 <small>（中規模半壊）</small>	床 下 浸 水	浸 水	合 計
住 家	2	9	—	18	18	1,028	1	14	—	1,090
非住家	4	4	2	3	8	223	—	—	1	245
合計	6	13	2	21	26	1,251	1	14	1	1,335

(3) 公共施設被害

(施設)

建物区分	全 壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半 壊	準 半 壊	一部 損 壊	床 上 浸 水 <small>（中規模半壊）</small>	床 下 浸 水	浸 水	合 計
保育園	—	—	—	—	—	7	—	—	—	7
公営住宅	—	—	—	—	—	31	—	—	—	31
観光施設	—	—	—	—	—	21	—	—	—	21
行政機関	—	—	—	—	—	13	—	—	—	13
その他	—	—	—	—	—	19	—	—	—	19
合計	—	—	—	—	—	91	—	—	—	91

(4) 文教施設被害

(施設)

建物区分	全 壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半 壊	準 半 壊	一部 損壊	床上 浸水 (中規模半壊)	床下 浸水	浸 水	合 計
小中学校	—	—	—	—	—	56	—	—	—	56
観光施設	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8
体育施設	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8
その他	—	—	—	—	—	12	—	—	—	12
合計	—	—	—	—	—	84	—	—	—	84

※ 文化財を除く。

(5) 道路被害等

○ 市道被害：225件（ブロック塀の市道への崩落等の軽微な被害を含む）

○ 地震による主な交通規制実施箇所

区分	路線名（場所）	主な被害	交通規制内容	開始日	解除日
国道	国道8号 （茶屋ヶ原地先）	法面崩落	全面通行止め	1月1日	1月27日
県道	黒井停車場線 （黒井地内）	冠水	〃	1月1日	1月2日
	原之町上下浜停車場線 （柿崎区坂田新田地内）	舗装破損	〃	1月1日	1月2日
	上越安塚柏崎線 （大島区板山地内）	道路崩落	〃	1月11日	未定
市道	五智居多ヶ浜シーサイドライン線 （五智6丁目地内）	漂着物堆積	〃	1月1日	1月12日
	西本町四丁目2号線 （西本町4丁目地内）	舗装破損	〃	1月2日	1月12日
	五智三丁目2号線 （五智3丁目地内）	舗装破損	〃	1月3日	1月20日

(6) 農林水産被害

	主な施設等	件数	主な被害状況	現在の状況
農業	農業水利施設	17 件	・用水路沈下等	・対応中(15 件) ・融雪後、対応予定(2 件)
	農地	5 件	・農地法面崩落等	・対応中(1 件) ・融雪後、対応予定(4 件)
	農作物	10 件	・倉庫内で積み上げられた玄米袋等が倒壊など ・きのこの菌床落下	・J A 及び事業所により対応中
	農業用施設	28 件	・カントリーエレベーターや倉庫等の天井や床、壁、柱、設備等の破損等	・J A 等により対応中
	農道	4 件	・農道の路面亀裂等	・復旧完了(1 件) ・対応中(1 件) ・融雪後、対応予定(2 件)
合計		64 件		
水産	名立漁港【県】	1 件	・荷捌き場吊り戸の破損	・漁協により対応中
	有間川漁港【市】	1 件	・陸側棧橋ガイドローラーの破損	・復旧完了
	大潟漁港【市】	2 件	・作業小屋の破損 ・西側防波堤天板コンクリートの剥離及び進入路法面の崩壊	・市及び漁協により対応中
合計		4 件		

(7) ガス・水道施設被害

施設区分	主な被害状況	合計	復旧状況
ガス施設	本管 一件・宅地内供給管 37 件	37 件	・復旧完了 (ガスの供給及び水道の給水に支障なし)
水道施設	本管 46 件・宅地内給水管 56 件	102 件	
	断水 4 か所	4 か所	

(8) 下水道施設被害

主な被害箇所	主な被害状況	現在の状況
五智 3 丁目他地内	・汚水管渠 L=1,310m (管路のたるみ、マンホール浮上 1 基)	・一部箇所は、1 月 20 日に仮設ポンプと仮配管による応急工事が完了 ・本復旧工事は、公共土木施設災害復旧事業により行う。 (汚水処理に支障は出ていない)
下水道センター (藤野新田地内)	・最終沈殿池 5 池の掻寄機が破損	・1 月 20 日までに 3 池の修繕が完了 ・破損が大きい 2 池の本復旧工事は、公共土木施設災害復旧事業により行う。 (水処理に支障は出ていない)

(9) 港湾被害

場 所	発災時の主な被害状況	現在の状況
直江津港	・荷捌き地で段差や亀裂（鉱産品岸壁、東2号岸壁など）	・災害復旧準備中
	・佐渡汽船可動橋取付部の道路で段差や亀裂	・災害復旧準備中 （応急復旧に向け取付部の舗装撤去開始） ※小木直江津航路は、冬季運休中。3月29日から運航再開予定
直江津港内の漁港区	・漁協事務所破損	・漁協で修繕予定
	・漁港施設等破損	・県及び市で復旧予定

(10) 文化財被害

区 分	件数	主な被害状況	現在の状況
指定文化財 （国・県・市）	13 件	・建造物の壁一部剥落、亀裂 ・彫刻の転倒、台座破損 ・灯籠の転倒 など	・一部は応急復旧済 ・復旧に向けて所有者の意向を確認中
国登録有形文化財	12 件	・土蔵の亀裂、基礎傾き ・土壁・漆喰壁の崩落 ・外壁崩落 など	
合計	25 件		

(11) 市内事業所等被害

○ 業種別内訳

業 種	件数	主な被害の状況
卸売業、小売業	73 件	・日本酒、ワイン等商品の落下破損 ・水濡れによる商品の汚損 ・ウインドウガラスの破損
製造業	46 件	・金型製造機器の自動搬出機の破損 ・機械、配管等の位置ズレ ・建具製品の破損
宿泊業、飲食サービス業	45 件	・コンテナ、資材の津波による破損、流出 ・ボイラー、給水管等の損傷 ・天井、床の一部歪み ・新年会等宴会のキャンセル
その他の業種	91 件	・ターミナル内の回廊に段差。航送車乗降口の小屋に傾きが発生（運輸業） ・ボイラー配管からの蒸気漏れ（生活関連サービス業）
合計	255 件	

※ 上記は、上越商工会議所及び各商工会による事業者への聴き取り結果によるもの

(12) 公共交通

事業者		区 分	運行状況	
			地震発生時	運行再開
鉄道	J R	北陸新幹線	全区間運転見合わせ	1/2 15:20 全線運転再開
		信越本線 (当市区間)	全区間運転見合わせ	1/3 から運転再開
	えちごトキめ き鉄道	妙高はねうま ライン	全区間運転見合わせ	1/2 13:30 運転再開
		日本海ひすい ライン	全区間運転見合わせ	1/2 20:00 運転再開
	北越急行	ほくほく線	全区間運転見合わせ	1/3 から運転再開
路線バス	頸城自動車 ほか4社	7 路線	運行打切り	1/2 から通常運行（一部 の路線は正午から再開） ※名立線は1/28から再開 ※能生線は1/29から再開
		4 路線	安全確保の上、運行継続	
		23 路線	元日運休、 または1/1～1/3 運休	
市営バス	大島区ほか 5区	11 路線	元日運休、 または1/1～1/3・4 運休	1/2 から通常運行
			※旭線(大島区)は土砂崩れに伴い1/11から迂回運行	

5 避難所の開設状況

(1) 地震発災時（1日～3日）

区 分	避難所数		最大避難者数	最終閉鎖日時
		うち 受入施設数		
指定避難所	125 施設	99 施設	9,920 人	3日 17時 00分
福祉避難所	97 施設	17 施設	110 人	2日 15時 20分
合 計	222 施設	116 施設	10,030 人	

※ 震度5弱以上で避難所は自動開設

※ ガラスを割って開設した避難所 7施設

〔直江津小学校、直江津南小学校、旧古城小学校、カルチャーセンター、有田小学校〕
〔八千浦小学校、八千浦中学校〕

※ 福祉避難所の避難者数は要支援者以外の介助者等を含む。

【参考】 ペットの同行（同伴）避難があった施設

総合体育館など43施設で、犬や猫、うさぎ、インコ等の同行避難を確認

(2) 大雪警報発令時（1月7日～8日）

区 分	最大避難者数	開設日時	閉鎖日時
総合体育館	1世帯、1人	7日 15時 30分	8日 9時 15分
ユートピアくびき希望館	1世帯、2人	7日 15時 30分	8日 9時 15分

(3) 余震発災時（1月9日～10日）

区 分	最大避難者数	開設日時	閉鎖日時
総合体育館	1世帯、1人	9日 18時 45分	10日 8時 30分
ユートピアくびき希望館	一世帯、一人	9日 18時 45分	10日 8時 30分

6 被災者生活支援の取組状況（令和6年2月2日現在）

(1) 被害家屋調査及び罹災証明書の発行

地震による住家等の被害状況を確認し、公的支援等を受ける際に必要な罹災証明書を発行

区 分		件 数
被害家屋調査	住家	897 件
	住家以外	97 件
罹災証明書		853 件

(2) 被災建築物応急危険度判定

余震などによる倒壊や外壁の落下などの二次災害を防止するため、地震により被災した建築物の危険度を速やかに外部から簡易調査し、危険度別の判定結果を貼り付け、所有者や通行人などに注意喚起

判定件数	調査期間		
	赤色 (危険)	黄色 (要注意)	緑色 (調査済)
120 件	37 件	36 件	47 件
1月2日(火)～10日(水)			

(3) 被災宅地危険度判定

宅地が被災した際に、二次災害の軽減・防止を図るため、被災した宅地の危険度を応急的に調査し、危険度別の判定結果を貼り付け、所有者や通行人などに注意喚起

判定件数	調査日		
	赤色 (危険)	黄色 (要注意)	緑色 (調査済)
2 件	1 件	1 件	0 件
1月2日(火)			

(4) 生活必需品の給与（災害救助法）

住宅が全壊及び床上浸水の被害を受けた世帯に対し、生活上必要な被服、寝具その他生活必需品を給与

区 分	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯以上 (加算額※)
全 壊	31,800 円	41,100 円	57,200 円	66,900 円	84,300 円	11,600 円
申請件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
大規模半壊 中規模半壊 半 壊 (床上浸水)	10,100 円	13,200 円	18,800 円	22,300 円	28,100 円	3,700 円
申請件数	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件

金額は限度額（※1人増すごとに加算）

(5) ブルーシート等の支給

① ブルーシートの支給（災害救助法、市単独事業）

住家の屋根や壁等に被害を受けて雨漏り又は雨漏りのおそれがある住家に対し、緊急修理のためのブルーシートを無償で支給

② 緊急修理費用（災害救助法）

住家が準半壊以上の損傷を受け、雨水の侵入等を放置することにより、住家の被害が拡大するおそれがある住家に1世帯当たり50,000円以内の緊急修理費用を市が直接業者に支払

区 分	適用	申請件数	支給枚数	支給期間
①ブルーシートの支給	災害救助法	0件	0枚	1月5日 ～31日
	市 単	153件	495枚	
②緊急修理費用	災害救助法	0件		

(6) 住宅の確保、修理等

① 住宅応急修理制度（災害救助法、県単独事業、市単独事業）

住宅に準半壊以上の被害を受けた世帯に対し、日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理する場合、市独自の支援を上乗せした上限額において、市が業者に修理を委託

区 分	適用	条件	上限額	件数
被災者住宅応急修理	災害救助法 県 単 市 単	大規模半壊	2,706千円	0件
		中規模半壊	1,706千円	1件
		半 壊	1,706千円	1件
		準半壊	943千円	1件

② 市営住宅への入居（市単独事業）

地震により自宅に住むことが困難となった方を対象に、一定期間、市営住宅を無償で提供

区 分	適用	対象者	世帯数	入居者数
市営住宅への入居	市 単	市 民	5世帯	7人
		市外者	0世帯	0人

③ 賃貸型応急住宅の提供（災害救助法）

住宅が半壊以上の被害を受け、やむを得ず住宅の解体などを行う被災者を対象に公営住宅に入居できない理由がある方について、民間賃貸住宅を借上げ応急住宅として提供

・実績なし

④ 被災者の住宅修理支援（市単独事業）【2月5日補正予算専決】

住宅応急修理制度（上記①）の対象とならない住宅の被災箇所（一部損壊程度を想定。住宅の附属屋等も含む）の修理工事費を支援

- ・対象工事費：10万円以上
- ・補助率：50%
- ・補助上限額：10万円
- ・受付期間：2月下旬～4月下旬

⑤ 被災した家屋等の公費解体（国庫補助事業）【2月5日補正予算専決】

半壊以上の被害を受けた家屋等に対して、所有者の申請に基づき、市が家屋等の解体・撤去を実施

※費用は市が負担

※所有者が自ら解体・撤去に着手又は終了した場合は費用償還（上限あり）を実施

⑥ 被災浄化槽の復旧に関する助成制度

住宅の合併処理浄化槽が被害を受けた方で、住宅の建て替えに伴う浄化槽設置、故障した浄化槽の更新及び既設の浄化槽の改築を行う場合に補助金を交付

- ・申請件数：3件

(7) 被災者生活再建支援事業（県・市単独事業）

住宅が半壊以上（床上浸水含む）の被害を受けた方に対し、被害程度及び再建方法に応じて支援金を支給

- ・基礎支援金：住宅が被害を受けた場合に、被害程度に応じて支給
- ・加算支援金：住宅を再建する場合に、再建方法に応じて支給
- ・実績なし

(8) 私道の応急復旧工事及び私道整備事業（本復旧工事）の受付（市単独事業）

被災を受けた一定規模以上の私道（市私道整備事業補助金交付要綱に該当）で、損壊が大きく、通行が困難な路線について、市が応急復旧工事を実施

- ・応急復旧工事実施件数：3件

軽微な被害や本復旧工事については、令和6年度に私道整備事業補助金を活用して修繕を行えるよう申請を受付

- ・実績なし

(9) 災害ごみの処分費用の減免（市単独事業）

災害で発生した家庭ごみをクリーンセンター、仮置場又は中間処理事業者へ直接持ち込む場合や、収集業者に依頼する場合に処分費用を減免（減免期間：1月5日（金）～3月30日（土））

区 分	適用	車両台数
仮置場への災害ごみの搬入	市 単	789 台

(10) 指定文化財及び国登録有形文化財の復旧支援（市単独事業）

指定文化財及び国登録有形文化財の復旧に要する費用について、補助金等により支援

- ・申請件数：1件

(11) 各種支援金の受入れ、支給

① 災害見舞金の支給

上越市災害見舞金支給要綱の規定に基づき、住宅に半壊以上の被害を受けた世帯に対して見舞金を支給予定

区 分	見舞金額	対象世帯数	合 計
全 壊	50,000 円	2 世帯	100,000 円
大規模半壊	40,000 円	9 世帯	360,000 円
中規模半壊	35,000 円	1 世帯	35,000 円
半 壊	30,000 円	18 世帯	540,000 円
床 上 浸 水	10,000 円	0 世帯	0 円
合 計		30 世帯	1,035,000 円

② 災害義援金の受入れ

1月10日から義援金の受入れを開始

・受入額：134件、5,511,902円

【今後実施予定】

上越市災害義援金配分委員会を設置し、配分方法等を審議・決定のうえ被災者に配分

③ ふるさと納税制度を活用した寄附金の受入れ

1月11日から寄附金の受入れを開始

・受入額：363件、2,679,400円

<参考1> 住宅の被害状況に応じた上記支援の対象者

支 援	全壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半壊	準半壊	一部 損壊
(4) 生活必需品の給与	○	○	○	○	(床上浸水) ○	
(5) ブルーシート等の支給	○	○	○	○	○	○※1
(6) 住宅の確保、修理等						
① 住宅応急修理制度	○※2	○	○	○	○	
② 市営住宅への入居	○	○	○	○	○	○
③ 賃貸型応急住宅の提供	○	○	○	○		
④ 被災者の住宅修理支援	○	○	○	○	○	○
⑤ 被災家屋等の公費解体	○	○	○	○		
(7) 被災者生活再建支援事業	○	○	○	○	(床上浸水) ○	
(11) 各種支援金の受入れ、支給	○	○	○	○	(床上浸水) ○	
① 災害見舞金の支給						

※1 ブルーシートの支給のみ

※2 修理することで居住可能となる場合のみ

<参考2> 災害に係る住家の被害認定基準

住家の主要な構成要素の経済的被害の住家全体に占める損害割合					
全壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半壊	準半壊	準半壊に 至らない (一部損壊)
50%以上	40%以上 50%未満	30%以上 40%未満	20%以上 30%未満	10%以上 20%未満	10%未満

7 事業者支援の取組状況

(1) 中小・小規模事業者等への支援

① 経営改善支援資金（市単独事業）

最近3か月間の月平均売上高等が減少している中小企業者等に、運転資金を融資。また、同制度を利用した場合に、信用保証料の一部を市が補助

② 融資実行済みの上越市制度資金の借換え及び元金返済猶予（市単独事業）

当面の資金繰りを支援するため、過去に融資を受けた市制度資金について、借換え及び元金返済猶予の取扱いを行い、返済負担を軽減

③ 新潟県制度融資の利用時における信用保証料・借入利子への補助（市単独事業）

地震の影響により、新潟県セーフティネット資金(経営支援枠・自然災害要件)・新潟県短期事業資金を利用する場合に、信用保証料・借入利子の一部を市が補助

④ 事業者の復旧支援 ※県の支援制度確定等にあわせ実施を予定

被災した中小企業者等の工場や店舗、生産機械などの復旧費を、国・県が実施する支援にあわせて市が追加支援

⑤ 小規模事業者の復興支援 ※県の支援制度確定等にあわせ実施を予定

被災した小規模事業者等が行う販路開拓に要する費用を、国が実施する支援にあわせて市が追加支援

⑥ 商店街の復旧・復興支援 ※県の支援制度確定等にあわせ実施を予定

被災した商店街の施設の復旧費やにぎわい創出に要する費用を、国・県が実施する支援にあわせて市が追加支援

(2) 農林水産業者への支援

① 金融支援（市単独事業）

農林水産業施設や資機材等に被害を受け、経営を継続するために資金調達を行う農林水産業者に対して、融資実行後2年間の借入利子及び保証料負担をゼロまたは軽減する緊急金融支援制度を創設して補助

② 施設等の復旧支援 ※県の支援制度確定等にあわせ実施を予定

- ・農業用機械等の再取得、修繕を国県が実施する支援にあわせて追加支援
- ・共同利用施設等の再建、修繕を国県が実施する支援にあわせて追加支援
- ・林産施設等の復旧を国が実施する支援にあわせて追加支援
- ・漁業施設等の復旧を国県が実施する支援にあわせて追加支援

8 被災地への支援

(1) 上越地域消防局

緊急消防援助隊 新潟県大隊の活動実績（第1次～第4次：延べ228隊872人の内数）

主な活動場所	派遣期間		体制		主な活動内容
石川県輪島市名舟町 土砂崩れ現場、 輪島朝市火災現場ほか	第1次	1/ 1～1/ 5	6隊	22人	救急搬送
	第2次	1/ 4～1/ 9	6隊	22人	捜索救助活動、救急搬送
	第3次	1/ 7～1/12	6隊	22人	捜索救助活動
	第4次	1/11～1/15	6隊	22人	捜索救助活動
延べ		15日間	24隊	88人	

(2) ガス水道局

主な活動場所	派遣期間	体制	主な活動内容
石川県七尾市	1/16～継続中	職員2～3人 (計13人)	水道施設の復旧支援 (漏水調査等)
	2/2～継続中	上越市管工事業協同組合7人 (計7人)	水道施設の復旧支援 (管路修繕等)

(3) 民間団体

○ ボランティア団体 「能登半島地震の支援・上越有志会」

構成者：市内 3企業、1団体

《内 容》

- ・ 市民や企業等からの支援物資の募集期間 1月17日（水）～1月22日（月）（6日間）
市民231人（市外の人を含む）と企業68社（県外企業を含む）から提供
- ・ 場 所 旧上越観光物産センター
- ・ 支援物資 飲料水や食品、毛布、オムツ、生理用品など
- ・ 1月25日（木）～27日（土）に石川県七尾市、珠洲市へ支援物資を届け、今後も被災自治体と連絡を取り、集まっている支援物資を届ける予定

9 復旧経費等の予算措置状況

令和6年2月5日時点

<一般会計>

(千円)

項目	1/1~1/12対応分		補正予算 (1/5, 1/12専決分)	補正予算 (2/5専決分)	合計
	既決予算の活用	予備費充用			
施設の復旧に係る経費	30,451	99,031	219,600	23,200	372,282
公共施設	27,777	8,920			36,697
文教施設（小中学校等）	2,274	10,500	105,000		117,774
病院	150				150
市道		66,768	27,600	23,200	117,568
農道		2,194			2,194
農業用施設		1,760			1,760
水産施設		1,359			1,359
市管理河川		3,000			3,000
公園	250				250
公共下水道 ※			87,000		87,000
その他		4,530			4,530
施設点検費用等	919				919
避難所開設・運営費用	578	16	700		1,294
被災者支援に係る経費	10,628		34,120	432,065	476,813
事業者支援に係る経費			13,951		13,951
職員人件費	20,800		36,400		57,200
予備費			200,000	200,000	400,000
一般会計合計…①	63,376	99,047	504,771	655,265	1,322,459

※一般会計には、下水道事業会計への繰出金を含む

<下水道事業会計>

(千円)

項目	1/1~1/12対応分		補正予算 (1/5, 1/12専決分)	合計
	既決予算の活用	予備費充用		
施設の復旧に係る経費	15,654	4,000	87,000	106,654
公共下水道事業	10,854	4,000	87,000	101,854
農業集落排水事業	4,800			4,800
下水道事業会計合計…②	15,654	4,000	87,000	106,654

<ガス事業会計・水道事業会計>

(千円)

項目	1/1~1/12対応分		補正予算	合計
	既決予算の活用	予備費充用		
施設の復旧に係る経費	53,060			53,060
ガス施設	6,560			6,560
水道施設	46,500			46,500
職員人件費（ガス事業会計）	3,046			3,046
職員人件費（水道事業会計）	5,612			5,612
ガス・水道事業合計…③	61,718			61,718

(千円)

総計（①+②+③）	140,748	103,047	591,771	655,265	1,490,831
-----------	---------	---------	---------	---------	-----------

10 課題検討に向けた視点等

【基本的考え方】

- 今回の能登半島地震に関し、当市においては、過去の中越沖地震、長野県北部地震における被害の状況等とは異なり、地震だけではなく津波の同時発災に直面したほか、住家や事業所が集積する市街地・海岸部で多くの被害が発生したところである。
- 今後の災害に備えていくためにも、これらの状況とともに、時間の経過により明らかになった津波の規模など今回の地震がもたらした事象や、当日の市内各地の実情などを踏まえ、発災時の避難を呼びかける情報発信や避難の在り方等について、改めて検証していくべきものと考えている。
- 検証に当たっては、今回の地震における各種の対応について、庁内での議論を進めていくとともに、町内会や自主防災組織、関係機関との間で、一連の対応を振り返りながら、それぞれが持ち合わせる様々な情報や課題認識を共有し、今後採るべき方策を検討・整理していくことが必要と考えている。
- なお、検証を進めていく中であっても、市民への周知啓発など直ちに対応すべきものと、実施に時間を要するものを見極めながら、前者については適宜実施していくものとする。

【課題検討に向けた視点】

○ 情報発信

防災行政無線などによる指定避難所開設情報や市民が災害時に取り得る行動等が、適切に伝達できたかなど、速達性や伝わり方等について検証を行い、避難方法等に関する適切な情報発信や市民の理解が一層深まる周知方法の在り方等について検討を行う。

〈主な検証のポイント〉

- …防災行政無線（屋外拡声子局・戸別受信機・防災ラジオ）を通じた放送、安全メール・SNS等の発信のタイミング・内容など
- …要配慮者（高齢者、障がい者、外国人、妊婦など）や市内滞在者（旅行者など）への効果的な情報伝達の在り方

○ 住民避難

津波の避難方法は「原則、徒歩で避難」を方針とする中で、自家用車での避難によって幹線道路に渋滞が発生した事象とともに、津波災害に直面した避難所の開設状況等について検証を行い、災害の種別、発生時期を踏まえた避難行動や避難所開設・運営の在り方等について検討を行う。

〈主な検証のポイント〉

- …「原則、徒歩での避難」を基本とする中での、避難行動要支援者等に対応した自家用車避難の在り方
- …指定避難所開設に要した時間、備蓄品の提供状況、避難者の誘導など
- …ハザードマップ研修、市総合防災訓練、各自主防災組織の訓練などの在り方
- …津波などハザードマップの効果的な市民への周知方策

○ その他

- …情報媒体（テレビ、インターネット、SNSなど）を活用した情報収集の在り方
- …住宅の耐震化の促進

【関係機関との連絡・調整】

○ （仮称）能登半島地震連絡調整会議の開催

2月中旬、関係機関、学識経験者等が参加する会議を開催し、直近の復旧状況や今後の見通しを共有するほか、最新の知見を踏まえ、津波被害から身を守るための避難行動等について市民へ発信していく。

《参加予定》

新潟大学災害・復興科学研究所、新潟地方気象台、国土交通省高田河川国道事務所、新潟県（防災局、上越地域振興局）、上越市 ほか